

平成28年度

小出労働基準監督署管内

# 建設業安全衛生大会

と き 平成28年9月7日(水) 14:00～

ところ コミュニティホール さわらび

(南魚沼市浦佐5175-1 Tel.025-777-4671)

主催 建設業労働災害防止協会六日町分会  
建設業労働災害防止協会小出分会  
後援 小出労働基準監督署

# 第33回 建設業安全衛生大会 (案)

## 1、開会の辞 (14:00)

建設業労働災害防止協会六日町分会 分会長 関 秀 俊

## 2、建設業労働安全衛生優良事業所表彰式 (14:05)

## 3、祝辞及び来賓紹介 (14:10)

小出労働基準監督署長	佐藤久夫様
南魚沼地域振興局地域整備部長	坂西和也様
南魚沼地域振興局農林振興部長	品田忠昭様
長岡地域振興局地域整備部長	大野昇様
長岡地域振興局農林振興部長	渡辺一男様
長岡地域振興局小千谷維持管理事務所長	金子法泰様
魚沼地域振興局地域整備部長	諏佐夏夫様
魚沼地域振興局農業振興部長	大塚正様

## 4、安全講話 (14:40)

『労働災害防止と労働衛生管理(仮題)』

小出労働基準監督署 署長 佐藤久夫様

休憩 (15:10~15:20)

## 5、記念講演 (15:20)

『東日本大震災現場からの証言 復興に向けての課題と提言』

株式会社 深松組 代表取締役社長 深松 努様

## 6、安全の誓い (16:40)

(一社)新潟県建設業協会六日町支部 青年部会長 森下真朋

## 7、閉会の辞 (16:45)

建設業労働災害防止協会小出分会 分会長 中村隆志



## 東日本大震災から得られた事②

13. 東北人の平穏強きと絆の深さ、日本人のDNAが再認識
14. ボランティアを通して、若者も一歩懸命地域を支えた
15. 避難所での支援物資の格差、意の深い支援活動が必要
16. 自衛隊による懸命な救助活動、子供たちの自衛隊に対するあこがれ
17. 警察消防と一緒の遺体捜索、心づかる面での支援
18. 子供たちのトラウマに対する対応、身近な死
19. 資金繰りに対する役所の考え方、身近な死
20. 年度末での災害の対処方法、普救とは違う
21. 世界一災害に強い地域を次世代に授けることが、夢中になる
22. 建設業は普救は「町医者」、災害時は「救急救命隊」
23. 震災復興の先を見越した経営を、立て直す絶好の機会
24. ビンチはチャンス、仲間と共に

## 最後に

東日本大震災から5年6ヶ月が経ち、今、復興現場の最前線では過去に前例のない出来事(骨材、生コン、各資機材の不足、職人不足、地権者の意思不明、土地の未確定)が次から次へと発生しています。

しかし、これは産みの苦しみであり、必ず官民一体となって被害を結集し解決して、最良の方程式をおみだします。

そして、いずれまた襲ってくる津波に素早く対応し、スムーズな復旧復興に立ち向かえるよう、次代の世代に、また近々に襲来が予想される関東、東南海地方の人々の為にお伝えすることが、今回、日本中、世界中から数々のご支援をいただいた我々の恩返しだと思っています。

「感謝報告」、震災以降の私のテーマであり、復興が終わるまで変わらざる思い続けて行きます。「一隅を照らすもの、国の宝なり」。私たちがそれぞれが、その一隅を照らす一柱となり宮城の復興のために邁進していきます。